

製品名: SEC61B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17695**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	SEC61B
別名	Protein transport protein Sec61 subunit beta
遺伝子 ID	10952.0
SwissProt ID	P60468
免疫原	ヒト SEC61B 由来の合成ペプチド AA 範囲: 30-110

背景

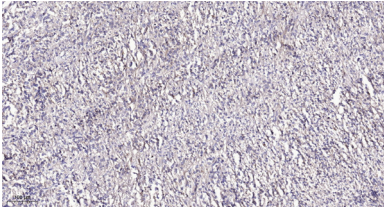
Sec61 複合体は、小胞体 (ER) 膜のタンパク質輸送装置の中心的な構成要素です。Sec61 複合体のオリゴマーは膜貫通チャネルを形成し、タンパク質はここで ER 膜を通過して ER 膜に輸送されます。この複合体は、 α 、 β 、 γ の 3 つの膜タンパク質で構成されています。

す。この遺伝子はβサブユニットタンパク質をコードしています。Sec61 サブユニットはER 後区画にも存在することが観察されており、これらのタンパク質がERから脱出して再利用できることを示唆しています。この転写産物には複数のポリアデニル化部位が存在することが示されています。[RefSeq 提供、2008年7月],機能: 小胞体におけるタンパク質輸送に必要。類似性: SEC61-βファミリーに属する。サブユニット: SEC61-α、SEC61-β、SEC61-γからなるヘテロ三量体複合体。SEC61、SEC62、SEC63からなる複合体の一部。SEC62と相互作用する。

研究分野

シグナル伝達; タンパク質輸送; ER タンパク質

画像データ



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。